様式Ｂ（８）

労災疾病臨床研究事業費補助金研究年度終了報告書

　　　　　第　　　　号

（元号）　　年　　月　　日

　厚生労働大臣　　殿

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| 所在地 | 〒 |
| 法人名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 職名 |  |
| 代表者名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

交付決定日及び文書番号：（元号）　　年　　月　　日　　　　第　　号

研究課題名 （課題番号）：　　　　　　　　　（　　　　　　　）

　研究実施期間（当初） ：（元号）　　年　　月　　日から（元号）　　年　　月　　日まで

　　　　　　 　　（　　）年計画の（　　）年目

　　　　　　　（変更後 ）：（元号）　　年　　月　　日から（元号）　　年　　月　　日まで

　国庫補助金精算所要額　：金　　　　　　　　　　円也（※当該研究課題の総額を記載すること）

（うち間接経費　　　　　　　円）

　　上記補助事業について、労災疾病臨床研究事業費補助金交付要綱（平成26年７月18日厚生労働事務次官決定）第16条第２項の規定に基づき（元号）　　年度における研究成果について下記のとおり報告します。

記

１．研究概要の説明

（１）研究者別の概要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所属機関・部署・職名 | 氏名 | 分担した研究項目及び研究成果の概要 | 研究実施期間 | 配分を受けた研究費 | 間接経費 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（２）研究実施日程

|  |  |
| --- | --- |
| 研究実施内容 | 実　　　　施　　　　日　　　　程 |
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

　　（注）研究代表者、研究分担者別に作成すること

（３）．研究成果の説明

|  |
| --- |
| 記載内容の例研究の目的：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。研究結果の概要：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。研究成果の刊行に関する一覧表：刊行書籍又は雑誌名（雑誌の時は、雑誌名、巻数、論文名）、刊行年月日、刊行書店名、執筆者氏名研究成果による知的財産権の出願・取得状況：知的財産の内容、種類、番号、出願年月日、取得年月日、権利者 |

２．労災疾病臨床研究事業費補助金研究年度終了報告書表紙　（別添１のとおり）

３．労災疾病臨床研究事業費補助金研究年度終了報告書目次　（別添２のとおり）

４．労災疾病臨床研究事業費補助金総括研究年度終了報告書　（別添３のとおり）

５．労災疾病臨床研究事業費補助金分担研究年度終了報告書　（別添４のとおり）

６．研究成果の刊行に関する一覧表 　 （別添５のとおり）

７．研究成果による特許権等の知的財産権の出願・登録状況

 　・総括研究年度終了報告書、分担研究年度終了報告書の中に、書式に従って記入すること。

８．健康危険情報

 　・研究の結果、得られた成果の中で健康危険情報（国民の生命、健康に重大な影響を及ぼす情報として厚生労働省に報告すべきもの）がある場合や、研究過程において健康危険情報を把握した場合には、国民の生命、健康に重大な影響を及ぼすと考えられる内容と理由を簡潔に記入するとともに、その情報源（研究成果、研究者名、学会発表名、雑誌等の詳細）について記述すること。

・　既に厚生労働省に通報した健康危険情報であっても、本研究年度終了報告書の提出の時点において健康危険情報に該当すると判断されるものについては記述すること。

 ・ 研究分担者、研究協力者の把握した情報・意見等についても研究代表者がとりまとめ、一括して総括研究年度終了報告書に記入すること。

（作成上の留意事項）

１．「１．（３）研究結果の概要」欄について

　　(1)当該研究の成果及びその利用上の効果等を記入すること。

　　(2)当該研究の交付申請時における研究の概要との関連が明らかとなるように記入すること。

２．「２．労災疾病臨床研究事業費補助金研究年度終了報告書表紙」から「６．研究成果の刊行に関する一覧表」までの報告書等は、一括して製本すること。ただし、一冊に製本することが困難な場合は複数の分冊ごとに製本することとし、各々の分冊に表紙を付けるとともに分冊の番号（１／ｎ冊、２／ｎ冊、ー等）を表示すること。３．研究年度終了報告書（当該報告書に含まれる文献等を含む。以下本留意事項において同じ。）は、国立国会図書館及び厚生労働省図書館並びに厚生労働省ホームページにおいて公表されるものであること。

　　※交付要綱第19条第２項に従い、事業完了後５年以内に、その結果又は経過の全部若しくは一部を刊行し、又は書籍、雑誌、新聞等に掲載した場合には、その刊行物又はその別刷一部を添えて厚生労働大臣に届け出ること。

４．研究者等は当該報告書を提出した時点で、公表について承諾したものとすること。

５．その他

　(1)手書きの場合は、楷書体で記入すること。

 (2)日本産業規格Ａ列４番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。また、本様式は、必要な事項の最小限度を記載すべきことを定めるものであって、これと異なる様式を用いることを妨げるものではない。

別添１

労災疾病臨床研究事業費補助金研究年度終了報告書表紙

（作成上の留意事項）

　　研究年度終了報告書の表紙は、別紙１「研究年度終了報告書表紙レイアウト」を参考に作成すること。

別添２

労災疾病臨床研究事業費補助金研究年度終了報告書目次

（作成上の留意事項）

　　研究年度終了報告書の目次は、別紙２「研究年度終了報告書目次レイアウト」を参考に作成すること。

別添３

労災疾病臨床研究事業費補助金総括研究年度終了報告書

（作成上の留意事項）

　　総括研究年度終了報告書は、別紙３｢研究年度終了報告書レイアウト｣を参考に作成すること。

別添４

労災疾病臨床研究事業費補助金分担研究年度終了報告書

（作成上の留意事項）

　　分担研究年度終了報告書は、別紙３「研究年度終了報告書レイアウト」を参考に作成すること。

別添５

研究成果の刊行に関する一覧表

（作成上の留意事項）

　　研究成果の刊行に関する一覧表は、別紙４「研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト」を参考に作

　成すること。

別紙１

研究年度終了報告書表紙レイアウト（参考）

|  |
| --- |
| 労災疾病臨床研究事業費補助金○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究（元号）○○年度　総括研究年度終了報告書研究代表者　氏　名（元号）○○（○○○○）年　○月 |

 　（作成上の留意事項）

 　　分担研究年度終了報告書がある場合は、「総括研究年度終了報告書」の箇所を「総括･分担研究年度

終了報告書」と表記すること。

別紙２

研究年度終了報告書目次レイアウト（参考）

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　目　　　次 　 Ｉ．総括研究年度終了報告 ○○○○○○○○に関する研究　　　　　　------------------------------　1 研究代表者氏名 （資料）○○○○○○○○○のアンケート調査用紙 　 II．分担研究年度終了報告 １． △△△△△△△△に関する研究　　　------------------------------　30 　　分担研究者１氏名 　　（資料）資料名 ２． □□□□□□□□に関する研究　　　------------------------------　60 　　分担研究者２氏名 　　（資料）資料名 ３． ▽▽▽▽▽▽▽▽に関する研究　　　------------------------------　80 　　分担研究者３氏名 　　（資料）資料名 ４． ◎◎◎◎◎◎◎◎に関する研究　　　 ----------------------------　100 　　分担研究者４氏名 　　（資料）資料名 ５． ◇◇◇◇◇◇◇◇に関する研究　　　-----------------------------　120 　　分担研究者５氏名 　　（資料）資料名 　III．研究成果の刊行に関する一覧表　　 ----------------------------- 140  |

別紙３

 研究年度終了報告書レイアウト（参考）

　　　　　　　　　　　　　　　（具体的かつ詳細に記入すること）

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　労災疾病臨床研究事業費補助金（総括・分担）研究年度終了報告書 |
| 　 |  |  |  | 　 |
| ○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究 |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 研究代表者（又は研究分担者）　氏　名　○○○○○病院長 |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 　　　　 | 研究要旨 | 　 |
|  |
|  |  | Ｄ．健康危険情報  ○○○○○○○○○○○○○○○○○（分担研究年度終了報告書には記入せずに、総括研究年度終了報告書にまとめて記入）Ｅ．研究発表 1. 論文発表 　○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○ 2. 学会発表　○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）Ｆ．知的財産権の出願・登録状況　　　 （予定を含む。） 1. 特許取得　○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○ 2. 実用新案登録　○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○ 3.その他　○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○ |
|  | 研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名（分担研究年度終了報告書の場合は、省略） |  |
|  |
| Ａ．研究目的○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。Ｂ．研究方法○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。（倫理面への配慮）○○○○○○○○○○○○○○○○○○Ｃ．研究結果○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。 |
|  |  |
| -00- |

（作成上の留意事項）

　１．「Ａ．研究目的」について

　　・労災補償行政の課題との関連性を含めて記入すること。

　２．「Ｂ．研究方法」について

　　(1) 実施経過が分かるように具体的に記入すること。

　　(2) 「（倫理面への配慮）」には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対

 　象者に対する不利益、危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）に関わる状況、

 　実験動物に対する動物愛護上の配慮など、当該研究を行った際に実施した倫理面への配慮の内容

 　及び方法について、具体的に記入すること。倫理面の問題がないと判断した場合には、その旨を

 　記入するとともに必ず理由を明記すること。

なお、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和３年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第１号）､遺伝子治療等臨床研究に関する指針（平成31年厚生労働省告示第48号）、厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針（平成18年６月１日付厚生労働省大臣官房厚生科学課長通知）及び申請者が所属する研究機関で定めた倫理規定等を遵守するとともに、あらかじめ当該研究機関の長等の承認、届出、確認等が必要な研究については、研究開始前に所定の手続を行うこと。

　３．「Ｃ．研究結果」について

　　・当該年度の研究成果が明らかになるように具体的に記入すること。

　４．「Ｄ．健康危険情報」について

 ・研究分担者や研究協力者の把握した情報・意見等についても研究代表者がとりまとめて総括研究年 度終了報告書に記入すること。

 ５．その他

 　(1) 日本産業規格Ａ列４番の用紙を用いること。

　 (2) 文字の大きさは、10～12ポイント程度とする。

別紙４

 研究成果の刊行に関する一覧表レイアウト（参考）

 書籍

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  著者氏名 |  論文タイトル名 | 書籍全体の 編集者名 |  書　籍　名 | 出版社名 |  出版地 | 出版年 |  ページ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

 雑誌

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  　発表者氏名 |  　論文タイトル名 | 　発表誌名 |  　巻号 | 　ページ |  　出版年 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |